

当資料は 12/28(火)大阪機械記者クラブにて資料配布をさせて頂いております。

2004 年 12 月 28 日

報道関係各位

第 5 回 消防士 1000 名に聞いた「防火に関する意識調査」
一般の方の防火意識 「低い」(38.1%)とする評価が「高い」(5.6%)を大きく上回る
～ 自らの危険をかえりみず救助活動を行う消防士の本音が明らかに ～

消防車製造・販売を手がける株式会社モリタ(本社:大阪・東京、代表取締役会長兼社長:新村鋭男、東証・大証 1 部)では、全国 1000 名(有効サンプル数 892 名)の現役消防士の方々を対象に、今回で 5 回目となる「防火に関する意識調査」を、2004 年 10 月 25 日から 11 月 25 日にかけて実施いたしました。

本調査は、火災現場で消火・救助作業にあっている、「防火のプロフェッショナル」である消防士の生の声、日頃実行されている防火対策や、一般の方々への要望などを調査したものです。

火災の発生件数が増加する季節、消防士の方々の防火に関する意識にふれていただくことで、皆様が自らの防火対策についてお考えいただくきっかけになればと思い、今回その調査結果のいくつかを御紹介させていただくものです。

主な調査結果の概略

消防士とは……………自らの危険をかえりみず救助活動を行う現在のスーパーマン
「消火活動中に身の危険を感じたことがあるか」について(P.4)の経験を問うと、7 割以上が「ある」(75.3%)としています。特に経験豊富な 40 歳以上の消防士は 8 割以上が活動中に危険を体験しています。しかし「実際に消防士になってみての感想」(P.2)を問うと、8 割以上(80.6%)が「なって良かった」と回答しています。「消防士になった理由」(P.2)の最多回答(49.3%)が「世の中の役に立つ仕事に就きたかったため」であることから、消防士の方々が「自らの危険をかえりみずに救助活動を行う献身的な性格の持ち主、まさに現在のスーパーマン」であることがわかります。

一般の方の防火意識……………防火のプロは「49.33 点」と評価
「一般の方の防火意識について」(P.5)消防士の方々にお聞きしました結果、「低い方だと思う」(38.1%)が「高い方だと思う」(5.6%)を大きく上回りました。「高い方だと思う」については前回調査から 3.3 ポイントもダウンしています。また、本年より「一般の方の防火意識について」を採点していただきました。結果、平均点は 49.33 点(有効回答 753 件の平均点)。防火のプロフェッショナルの評価では合格点にまだ届いていないようです。

「これだけはやめてほしい」……………「防火への無関心」が深刻です

「一般の方に最も実行していただきたい防火対策」について(P.6)消防士の方々にお聞きしました。「火を使っている時は目を離さない」(46.0%)が前調査から変わらずトップ。防火対策のやはり「基本」のようです。「一般の方に、これだけはやめてほしいこと」(P.7)では、私は火事なんか起こさないというような「自分自身への妄信」(26.8%)と「防火への無関心」(26.3%)がほぼ同ポイントで並びました。また、「火災を見物している人達(野次馬)」については(P.7)「迷惑している」が4割以上(40.7%)、その理由「これだけはやめてほしい」(P.8)ことは「火災現場や消火栓などの周囲に車を駐車する」(34.5%)となりました。これは駐車スペースが少ないと思われる都市部だけの問題でなく全国で指摘されています。「防火への無関心」がここでも見てとれます。

火災発生時には……………冷静になり / 誰かに火災の発生を告げ / すみやかに避難する

防火のプロフェッショナルである消防士の方々に「消防士に資質・最も大切なもの(P.4)」をお聞きしたところ、ベスト3は、「冷静さ」(56.6%)、「体力」(35.9%)、行動力(26.6%)という回答でした。また、関連した質問として「就寝中に火災が発生したとき最初にすべきこと(P.8)」についてお聞きすると「大声で火災の発生を知らせる」(42.5%)、「現場から離れる」(20.2%)の順になりました。このことから、一般の方が火災の発生に遭遇したとき、心がけるべきは、「冷静になり / 誰かに火災の発生を告げ / すみやかに避難する」ということとなります。

今後の火災発生件数……………消防法の改正、ポイ捨て禁止条例等と火災発生件数の関係は？

「火災の発生件数」(P.9)について「減少する」は僅か18.0%にとどまり、「増加する」が37.8%で大きく上回りました。「増加すると思われる理由」(P.9)は、前回調査と同様、「犯罪の増加」(44.7%)。これは前回調査からさらに0.3ポイントアップしています。

今回調査では、近年の消防法の改正や路上での喫煙に関する「ポイ捨て禁止条例」、「歩きタバコ禁止条例」の制定と火災発生件数の関係についての質問を致しました。結果、近年の消防法の改正について(P.12)は、半数以上(54.0%)が「つながると思う」との回答がありました。また、路上での喫煙禁止について(P.11)も、「つながると思う」(47.3%)が「つながらない」(11.2%)を大きく上回りました。「喫煙者のマナーが向上するから」(76.2%=317)がその理由として上げられましたが、一方で「つながらない」理由に「ポイ捨てや隠れた喫煙が増えるから」(67.7%=42)という回答がありこの問題の複雑さがうかがわれます。

この件に関する報道関係者からの問い合わせ先
株式会社モリタ 広報室 担当: 浦野・東尾
TEL: 03-5777-5088

調査結果は株式会社モリタのホームページ(<http://www.morita119.com/>)でもご覧になれます。